

〇〇科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【思考・判断・技能】

自分のイメージをもとに、ふさわしい方法で工夫し表現する力を身に付けさせる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策 （「主体的・対話的で深い学び」における）	手だての実施時期	年度末評価（2月）
第1学年	思考力・判断力・表現力 既成のイメージにとらわれやすい。 表現に必要な技能が不足している。	- ワークシートによる発想のトレーニング - 用具の扱い、表現方法の支援（板書や演示） - 小グループによる話し合い（相互に鑑賞）	- 単元ごと - 単元ごと - 単元ごと	- 話し合い活動は大変有効なことがわかった。継続したい。 - 豊かな発想を引き出すための取り組みを技法面からも考えたい
第2学年	思考力・判断力・表現力 イメージを表すための表現技能（スケッチなど）が不足している。	- スケッチ - 板書や演示の工夫 - ペアやグループによる学び合い	- 単元ごと - 単元ごと	- 基本的な用具の使用や技法をわかりやすく学ばせる。 - 話し合い活動は非常に有効なため、積極的に取り組む
第3学年	思考力・判断力・表現力 自分のイメージを表現する思考が既習内容のみに偏ってしまう。	- 表現技能の習得（板書や演示） - ペアやグループによる学び合い	- 単元ごと - 単元ごと	既習内容と新しい学びの融合ができはじめた。今後も応用して多くの題材で取り組みたい

■ICTを活用した授業における改善策

1年 導入で活用しそれぞれの授業の流れ、課題について提示、単元ふり返りの際の端末上のワークシートに記入する

2年 導入で活用しそれぞれの授業の流れ、課題について提示、単元ふり返りの際の端末上のワークシートに記入する

3年 導入で活用しそれぞれの授業の流れ、課題について提示、単元ふり返りの際の端末上のワークシートに記入する